

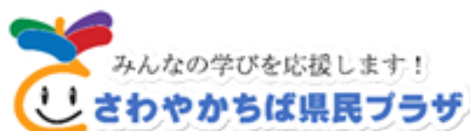
令和 6 年 度

千葉県生涯学習センター・芸術文化センター
さわやかちば県民プラザ

事業実施報告



令和 7 年 3 月



I はじめに

さわやかちば県民プラザでは、県生涯学習センター・芸術文化センターとして、生涯学習の推進を図るために学習・研修事業、文化・創作事業、交流事業、情報収集・提供事業、相談事業等を行っております。これまでも、先導的なものや時代を反映したもの、関係機関と連携したものなど、様々な事業を実施してきました。

本県は、生涯学習の取組みとして、令和4年3月に「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」を策定し、県民誰もが必要に応じて学習できる多様な学びの場の充実や社会を支える人材として必要な知識等の学び直しの支援により、生涯にわたり活躍できる場づくりを推進することとしました。令和5年5月には、生涯学習推進の方向性を示す「千葉県生涯学習推進方針」を定め、「社会とつながる生涯学習～いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現～」を目標とし、生涯学習社会の実現を図ることとしています。

当所では、生涯学習社会の実現に向け、既存の事業の成果と課題を振り返り、事業整理を行いました。今年度は、生涯学習推進方針の趣旨に則り、各事業の意義や目的を明確にし、県民一人一人に、より多くの学びの場や情報を提供し、県生涯学習センターとしての役割を一層果たすことができるよう取り組んでまいりました。各種事業の実施に際しましては、多くの講師の皆様のご指導、また各市町村及び各連携機関のご協力により、多くの県民の皆様に学びのきっかけづくりや専門的・実践的な学びを提供することができました。ご指導、ご協力に感謝申し上げます。

今後も、生涯学習推進方針の趣旨のさらなる理解を深め、県生涯学習センター・文化芸術センターとして、どのような事業を通して県民一人一人への学びの場や情報を提供していくべきか、事業企画立案、実践、検証、改善を繰り返し、より充実した事業展開に努めていきたいと考えております。引き続き、さわやかちば県民プラザの事業運営に際し、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

さわやかちば県民プラザ

所長 西原 正男

目 次

I はじめに

II 主催事業等実施報告

【学ぶ～各種講座・社会教育関係者向け講座～】

1	ちばアカデミア講座・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	ちば子ども大学・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1
3	さわやか青年教室・・・・・・・・・・・・・・・・	1 7
4	音楽ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・	2 5
5	公民館等職員研修・・・・・・・・・・・・・・・・	2 7
6	社会教育担当者研修会・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9
7	「障害者の学び」研修会・・・・・・・・・・・・・・・・	3 1

【関わる～各種体験～】

8	生涯学習・社会教育実践研究交流会・・・・・・・・	3 3
9	高校生のためのボランティア講座・・・・・・・・	3 6
10	ちば学びサポーター養成講座・・・・・・・・	3 8
11	Let's do it!!・・・・・・・・・・・・・・・・	4 0

【観る～各種イベント～】

12	The World of Brass2024・・・・・・・・	4 4
13	第2回とうかつ地域文化祭・・・・・・・・	4 6
14	晩秋のコンサート・・・・・・・・	4 8
15	千葉県特別支援学校作品展・・・・・・・・	5 0
16	高校生バンドフェスティバル・・・・・・・・	5 2
17	新春のコンサート・・・・・・・・	5 4

III おわりに

Ⅱ 主催事業等実施報告

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年6月15日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座1		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 中研修室2		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	60名	募集期間	令和6年4月18日から令和6年6月8日
参加者数	87名 対面34名、オンライン28名、 サテライト配信25名 ※サテライト会場は実施内容に記載	参加費用	無料
講師 等	気象大学校 講師 梶原 靖司 氏		
実施内容	内容:「ゼロからわかる天気と気象 ～頻発する気象災害に立ち向かう気象庁のチャレンジングな取組～」 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時30分 講演 午後3時30分～午後4時 質疑応答、アンケート記入、閉演    会場の様子 梶原講師 質疑応答の様子 ※サテライト会場(2施設)・・・佐倉市立弥富公民館、旭市民会館		
参加者 アンケート	【満足度94%】 ○最新の気象に関する取り組みを確認させて頂いた。 ○防災施策の大転換により、自分の身は自分で守る「マイタイムライン」の必要性がよくわかった。 ○気象を学ぶ第一歩としたい。 ○災害から学ぶことが多かった。自分の命は自分で守る大切さを知った。		

	○危機的状況がせまっているので、一人一人が CO2 削減に取り組むことが大切である。 ○用語が難しく勉強不足だった。なぜ台風が起こるのかといった普段の生活の中の疑問を知りたかった。 ○専門家からタイムリーな話が聞けて有益であった。今後の気象庁のチャレンジングな取組を期待している。 ○災害・環境問題への危機意識が改めて感じられた。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、線状降水帯が起こる理由や対策、気象庁が取り組んでいること等話題となっている事象を講師の先生よりわかりやすく講演いただいたことにより大きく貢献できたと思う。 ・受講方法については、今年度より新たにオンラインでの受講申込を行った。遠方からの申込みもあり、県民の生涯学習の機会の提供に寄与できた。 【課題・今後の方向性】 ・オンラインでの受講については、多くの課題が残った。講師以外の声が届きづらい(司会者、質問者の声が聞こえていない)、ネット環境の問題により、受信側に映像が発信できない時間帯があった。パソコンの予備機とオンライン用マイクを増加していく。 ・人員配置については、中研修室なので少ない人数で対応できる。しかし、パソコンの予備機を必要数確保することを考えると、最低でも5台のパソコンの準備が必要となる(講師用、講師予備用、オンライン用、オンライン予備機2台)。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年8月24日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座2		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	60名	募集期間	令和6年6月2日から令和6年8月17日
参加者数	142名 対面60名、オンライン22名、 サテライト配信60名 ※サテライト会場は実施内容に記載	参加費用	無料
講師 等	渋沢史料館 館長 桑原 功一 氏		
実施内容	内容:「渋沢栄一から学ぶ ～激動する社会の生き方～」 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時50分 講演 午後3時50分～午後4時 質疑応答、アンケート記入、閉演  会場の様子  桑原講師 ※サテライト会場(8施設)・・・旭市民会館、一宮町中央公民館、千葉県立東部図書館、佐倉市立弥富公民館、千葉市草野公民館、犢橋公民館、都賀公民館、椿森公民館		
参加者アンケート	【満足度100%】 ○日本の近代史や論語も内容に触れていて興味深い話だった。 ○栄一についての詳細なエピソードを交えた講演は大変感銘を受けた。大河ドラマと重ね合わせて連想でき、理解に役立った。 ○福祉、教育の分野にも切り込んだ活動を知れてよかった。		

	○渋谷栄一が現在で考えてもかなり先進的な事を多数やっていたことがよく分かった。 ○明確な理念を持ちその実現に向けて活動する事の重要性が理解できた。 ○企業活動についてはTV等で知っているが、会社と福祉事業がうまくいっていた事も知れてよかった。養育院の事は知っていたが、あまりピンとしなかったが今回の講演を聞いてよくわかった。 ○福祉事業、教育事業、民間外交どれをとっても素晴らしい取り組みだと感じた。現代に生きる我々も大いに見習うべきと思う。 ○とても詳しくいいのだが、2～3回に分けた方がいいと思った。詳しすぎるのももう少し簡単な説明が必要と思った。難しすぎた。 ○資料として先生が示された写真も欲しかった。 ○講師資料はレジュメではなく、パワーポイントで映している資料が欲しい。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、新札となった渋谷栄一の生き方や社会に寄与した姿を講師の先生からたくさんのエピソードと結び付けてわかりやすく講演いただいたことにより大きく貢献できたと思う。 ・受講方法については、オンライン配信での受講、サテライト配信の協力を広く行うことができた。前回よりも多数の申込みがあり、県民の生涯学習の機会の提供に寄与できたと思う。 ・課題となっていたオンライン配信については、機材の新設や動作確認を何度も行うことで映像や音声を鮮明に届けることができた。オンラインに関する否定的な意見もなかった。予備機はある程度用意しておくで安心できる。 【課題・今後の方向性】 ・申込みが多数あったことで、会場を変更したが、参加者への周知の仕方を再検討する必要がある。今回当所ホームページにてお知らせをしたが、それで良かったのかを課内で検討していきたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年10月14日(月・祝)		
事業名	ちばアカデミア講座3		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	60名	募集期間	令和6年8月27日から令和6年10月7日
参加者数	80名 [対面51名、オンライン29名] ※サテライト会場はなし	参加費用	無料
講師 等	東京大学 新領域創成科学研究科 人間環境専攻 客員教授 持丸 正明 氏		
実施内容	内容:「人に寄り添い人を高める「人間拡張技術」 ～身につけるデバイスでカラダと気持ちをパワーアップ～」 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時40分 講演 午後3時40分～午後4時 質疑応答、アンケート記入、閉演   会場の様子 持丸講師		
参加者 アンケート	【満足度100%】 ○「人間拡張技術」は初めてだったが、具体的な事例やデータに基づいたユニークな講演で感銘を受けた。 ○柏の葉に引っ越してきて良かったと思わせる内容であった。 ○変化の激しい現在、自分に不足している知識充足に大いに役立っている。 ○知らない分野の貴重な話を聞かせていただいた。持丸先生が Social Lab としている柏の葉が今後どのような街づくりをしていくか大いに期待している。		

	○「人間拡張技術」という言葉自体、あまり耳慣れない言葉だが、高齢化における人間機能低下を抑制・助長するため、高齢化社会における移動手段の援助等のため、現実社会に役に立っている技術であるということが、少なからず理解できた。今後の研究に期待している。 ●豊富な内容に対して時間が短く、話の展開が速すぎると感じた。何回かに分けて設定していただけるとありがたい。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、聞き馴染みのない「人間拡張技術」を柏の葉という身近な地域と絡めながら、具体的事例やデータに基づいてわかりやすく講演いただいたことにより大きく貢献できたと考える。 ・オンライン配信については、会場の声を鮮明に届けられるようにした。オンラインに関する否定的な意見もなかった。予備機を用意しておくと安心できる。 【課題・今後の方向性】 ・「受講不可のみ連絡をする」とチラシに掲載しているが、受講の可否の問い合わせが多い。もう少し上記部分を目立たせる必要があると思った。 ・動画を視聴する際、予備機から音声を流して対応しているが、オンライン受講者の音声を会場に流していることになるため、映像とのタイムラグが生じていた。特に会場受講者から意見はなかったが、なるべくタイムラグがないよう検討していく必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年12月7日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座4		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 中研修室2		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	60名	募集期間	令和6年9月27日から令和6年11月30日
参加者数	77名 対面 32 名、オンライン12名 サテライト33名 ※サテライト会場6箇所	参加費用	無料
講師 等	国立がん研究センター 精神腫瘍科長 兼 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野長 小川 朝生 氏		
実施内容	内容:「がんと心のケア ～安心して治療に臨むために患者さん・ご家族が知っておくと役立つこと～」 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時40分 講演(休憩10分含) 午後3時40分～午後4時 質疑応答、アンケート記入、閉演   会場の様子 小川講師 ※サテライト会場(6施設)・・・旭市民会館、千葉市こてはし台公民館、椎名公民館、高浜公民館、轟公民館、長南町中央公民館		
参加者アンケート	【満足度100%】 ○患者になったとき、家族が患者になったとき有益な情報が得られた。突然告知を告げられることが多いので、がんに対する知識の有無で病気との向き合い方がわかる。 ○「がん」という病気の認識が以前と全く違ってきていることを確認できて良かった。 ○がん医療の進歩も日進月歩であると思う。今後の先端がん医療に期待している。		

	○テーマが「がんと心のケア」なので仕方ないが、できればがん細胞の仕組みや治療方法、再発リスクなどを知りたかった。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「がん」をテーマに罹患者だけでなく、関わっている人々の心のケアの方法、相談機関等についてわかりやすく講演いただいたことにより大きく貢献できたと考える。 ・オンライン配信については、講師の顔が見えるようにカメラの配置、構図を工夫した。 【課題・今後の方向性】 ・今回対面での受講者が少なかったので会場を変更せずに行ったが、申込みをしたと勘違いして来所された方が複数名いた。今後は対面での申込みが40名を超えた時点で大研修室に会場を変更する等の措置が必要だと感じた。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年1月18日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座5		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	60名	募集期間	令和6年9月27日から令和6年11月30日
参加者数	122 名 対面41名、オンライン27名 サテライト54名 ※サテライト会場5箇所	参加費用	無料
講師 等	理化学研究所 革新知能行動センター 認知行動支援技術チーム チームリーダー 兼 NPO 法人 ほのぼの研究所 代表理事・所長 大武 美保子 氏		
実施内容	内容:認知症発症を遅らせる AI ～「脳が長持ちする会話」を助ける会話支援ロボットの開発～ 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時55分 講演(休憩10分含) 午後3時55分～午後4時 アンケート記入、閉演   大武講師 共想法の様子 ※サテライト会場(5施設)・・・旭市民会館、千葉市長作公民館、緑が丘公民館、みつわ台公民館、千葉市生涯学習センター		
参加者アンケート	【満足度92%】 ○認知症は病気だから薬で治すと思っていましたが、身近なことから自分がアプローチしていくことが大切だと感じた。 ○認知症予防のための会話支援手法(共想法)は、難しいものではなく誰でも取り入れられる会話手法であるため、機会を見つけて取り組んでみたいと思う。また、共想法に		

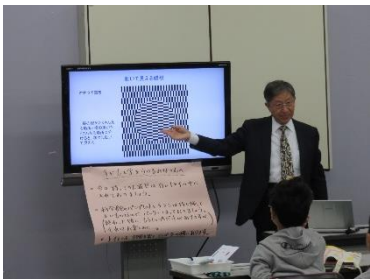
	立脚した会話・対話支援システムおよびロボットについては、とても興味をそそられる研究だと思った。 ○AIを使って人間の機能を伸ばしていく、高齢者の機能の低下を防ぐことは大変なことであることを理解できた。しかし、まだまだ発展途上であるとも感じられた。新しいことに取り組む気持ちを持ち続けてほしいと思う。 ○AI の調子が悪く物足りなく感じた。事前準備をしっかりしてほしい。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「認知症」をテーマに認知症予防のための会話支援手法「共想法」について実演を交えて説明していただき、受講者から92%の満足度を得られた。 ・オンライン配信については、実演の様子が見えるようにカメラの配置、構図を工夫することができた。 【課題・今後の方向性】 ・講演については講師が準備した AI ロボットがうまく機能せず、講演時間中に空白の時間を作ってしまった。講師が準備したものとはいえ、運営側として事前にロボット動作の確認を行う等の措置が必要だったと感じた。 ・講演とは別に書籍の販売、動画サイトの投稿等講師側の要求があった。要求に応じられるよう連絡を密に取り合うことが大切である。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6年 10月 20日(日)		
事業名	ちば子ども大学		
趣 旨	大学、研究所、企業、関係機関等と連携し、多様な主体の力を結集することで、子どもたちの知的好奇心を育み、学ぶ意欲を高めることのできる様々な講座を実施し、「ホンモノ」から学ぶ楽しさを体感することで、子どもたちの自らの学びを広げ、深めることを目的とする。		
会 場	当所料理室		
対 象	小学校4年生～中学校3年生		
申込方法	Web申込		
募集定員	24名	募集期間	令和 6年 9月20日から令和 6年 9月26日
参加者数	15名(受講生14名、ボランティア1名)	参加費用	材料費500円
講師 等	一般社団法人 日本糀文化協会 代表理事 大瀬 由生子 氏		
実施内容	内容:「楽しい おいしい 千産千消ごはん」 ふるさと千葉県の特産品について学び、楽しくおいしく千産千消ごはんを作る。 日程:午前9時55分～午前10時 オリエンテーション 午前10時～午前11時50分 講義及び料理体験 午前11時50分～正午 アンケート記入、閉講  千葉県の特産を学習中  協力しながら楽しく調理  ランチプレートの完成！		
参加者 アンケート	【満足度100%】 ○とてもおいしかったです。 ○料理ができて楽しかったです。 ○家でも作りたと思いました。 ○料理を作っている人はこんなに大変なんだと思いました。 ○とても楽しく勉強になりました。 ○おいしいものを作れて満足しました。		

	○初対面で違う学年の人と協力しておいしい料理を作れてよかった。また参加したい。 ○みんなで協力して料理したり、仲を深めることができたりしてすごく楽しかったです。 ○初めて参加して4人グループで協力できたと思うし、みんなでやって楽しかったです。 ○先生の話も今後活かしていきたいです。 ○生のタマネギは辛かったです。 ○作ったことのない料理だったから少し難しかったけど、楽しかったです。 ○醤油や糀が千葉産と知った。菌は砂糖をエサにすることを知らなかったなので、その仕組みを知ることができて良かったです。 ○料理の楽しさを実感できました。先生の話では知らなかったことがたくさんあり、聞いていて千葉の魅力や糀のすごさを理解できとても楽しかったです。おからはすごい！ ○ポテトサラダの材料のジャガイモをおからにするというアイデアが面白いなと思いました。みんなで協力して1時間くらいで3品も作れてしまったのでびっくりしました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、料理研究家の指導のもと千葉県の特産を使った料理体験を行うことで、「ホンモノ」から学ぶ楽しさや子どもたちの自らの学びを広げ、深めるという目的を実現できた。 ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果が得られた。時間内に3品作ったことで満足感を得られたと考える。 ・講座内容については、前半が講義、後半が料理という、座学と体験を組み合わせた構成は、子ども達の知的好奇心や学ぶ意欲を高めるものとなった。 ・安全面については、グループを異学年で編成したことで、上級生がリーダーとなって包丁やフライパン等を扱い、全員怪我をすることなく料理ができた。 ・支援体制については、ボランティア講師を依頼し、グループに割り当て、支援計画をしたことで、怪我や事故無く、円滑に講座を進めることができた。 ・支援内容については、職員やボランティア講師が受講生の様子を観察し、適切に声掛けをしたり、補助を行ったりしたことで、どの受講生も楽しく活動できた。 【課題・今後の方向性】 ・電子レンジを使う等の工夫をすると、調理時間の短縮になり、受講生がさらに家庭生活でも実践しようと思える内容になると考える。 ・サポート体制については、ボランティアを依頼し、各グループに大人1名の支援体制を整えたことで円滑に講座運営ができた。 ・予定より試食とアンケート記入の時刻が遅れてしまったが、食器の片付けを職員が行ったことで、受講生は時間内に解散することができた。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6年 11月 16日(土)		
事業名	ちば子ども大学		
趣 旨	大学、研究所、企業、関係機関等と連携し、多様な主体の力を結集することで、子どもたちの知的好奇心を育み、学ぶ意欲を高めることのできる様々な講座を実施し、「ホンモノ」から学ぶ楽しさを体感することで、子どもたちの自らの学びを広げ、深めることを目的とする。		
会 場	千葉県立現代産業科学館 研修室		
対 象	小学校4年生～中学校3年生		
申込方法	Web申込		
募集定員	40名	募集期間	令和 6年 10月16日から令和 6年 10月22日
参加者数	27名	参加費用	無料
講師 等	明治大学 研究・知財戦略機構 先端数理科学インスティテュート 研究特別教授 杉原 厚吉 氏		
実施内容	内容:「ふしぎ体験！立体錯視アートの世界」 算数・数学を応用して作られる立体錯視アートを第一人者から学ぶ 日程:午前9時55分～午前10時 オリエンテーション 午前10時～午前11時50分 講義・企画展見学・工作体験 午前11時50分～正午 アンケート記入、閉講  錯視が起こる仕組みの説明  錯視アート工作体験  鏡の前で見え方を確認		
参加者 アンケート	【満足度100%】 ○とても楽しかった。おもしろかった。 ○自分で立体錯視アートを作れて楽しかった。 ○錯覚の仕組みがわかって勉強になった。 ○錯視アートを勉強したり、見たりするだけでなく、実際に作る体験をすることができてとても楽しかった。 ○普段できないことができて楽しかった。実際に見てみることで新たな発見ができた。		

	○内容が難しいところもありましたが、画像や動画を使い、わかりやすく説明していただき、楽しかった。 ○似たような講座があったら参加したい。 ○いろいろな錯視や知らない錯視が、どうしてそうなるのか実物を見たり説明を聞いたので勉強になった。 ○最初は難しいかなと思ったけど、すごく簡単にできて、すごく楽しかった。 ○最初の説明で見たものを実際に見られておもしろかった。自分でも錯視アートを作れるとは思わなかったからびっくりした。 ○工作は難しいけど、体験が知識になった。 ○家で鏡で見てみたい。 ○鏡に映して高さが変わる階段は作るのが難しいと思っていたが、自分で完成させることができ嬉しかった。 ○先生の説明がわかりやすく、錯視アートを知ることができて楽しかった。学校では知ることができないことを教えてもらえて嬉しかった。 ○工作が完成して、確かめて、成功して嬉しかった。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、数理工学者による錯視研究の講義と体験指導により、本事業のコンセプトである「世の中のふしぎについて学ぶ」と「体験を通して新たな価値観を学ぶ」を達成するとともに、「ホンモノ」から学ぶ楽しさや子どもたちの自らの学びを広げ、深めるという目的を実現することができた。 ・講座内容については、前半が講義、後半が工作という、座学と体験を組み合わせた構成は、子どもたちの知的好奇心や学ぶ意欲を高めるものとなった。 ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果が得られた。講座途中に講師の作品の企画展の見学を取り入れたことも効果的であった。 ・支援体制については、現代産業科学館のボランティアスタッフによるサポートにより、円滑に講座を進めることができた。 ・支援内容については、職員やボランティアスタッフが子どもたちの様子を観察し、適切に声掛けをしたり、支援を行ったりしたことで、移動や工作中も怪我等なく活動できた。 【課題・今後の方向性】 ・会場については、今回は科学的な内容の講座であり鏡が必要であったが、現代産業科学館は実験道具を取り揃えており、借りることができた。会場提供していただいたことは適していた。講座内容によって会場を考慮すると、講座がより充実すると考える。 ・実施時期については、子どもたちが参加しやすい夏休み中が適していると考え。検討が必要である。 ・ボランティアについては、現代産業科学館のボランティアスタッフを依頼したことで、滞りなく講座運営ができた。当所とは別会場で実施する場合は、会場の担当職員と講座内容や運営方法についての打合せを密に行うことが重要である。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年8月 6日(火)《聖徳大学》 令和6年8月 6日(火)《千葉大学》 令和6年8月20日(火)《城西国際大学》 令和6年8月23日(金)《産業技術総合研究所柏センター》 令和6年9月14日(土)《千葉県立現代産業科学館》 令和7年1月12日(日)《千葉県立美術館》																														
事業名	ちば子ども大学																														
趣 旨	大学、研究所、企業、関係機関等と連携し、多様な主体の力を結集することで、子どもたちの知的な好奇心を育み、学ぶ意欲を高めることのできる様々な講座を実施し、「ホンモノ」から学ぶ楽しさを体感することで、子どもたちの自らの学びを広げ、深めることを目的とする。																														
会 場	各協力機関																														
対 象	小学校4年生～中学校3年生 ※講座により異なる																														
申込方法	Web申込																														
募集定員	講座により異なる	募集期間	各講座開催日の1か月前から1週間																												
参加者数	58名	参加費用	無料																												
講師 等	聖徳大学 教育学部児童学科 講師 小林梨紗 氏 千葉大学 環境健康フィールド科学センター 副センター長 塚越寛 氏 城西国際大学 薬学部医療薬学科 准教授 押坂 勇志 氏 産業技術総合研究所柏センター 人間拡張研究センター 副研究センター長 蔵田武志 氏 千葉県立現代産業科学館 上席研究員 野口仁志 氏 千葉県立美術館 上席研究員 廣川 政和 氏																														
実施内容	参加人数等: <table border="1"> <thead> <tr> <th>協力機関</th><th>講座名</th><th>募集定員</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聖徳大学</td><td>Midi Art で音楽を楽しもう</td><td>20名</td><td>8名</td></tr> <tr> <td>千葉大学</td><td>最新の農業はすごいことになっている</td><td>10名</td><td>10名</td></tr> <tr> <td>城西国際大学</td><td>マッシュルームを使った美白化粧品の効果と練香水の作製</td><td>10名</td><td>10名</td></tr> <tr> <td>産業技術総合研究所</td><td>「働く」を科学する</td><td>20名</td><td>10名</td></tr> <tr> <td>県立現代産業科学館</td><td>プログラミング教室(入門)</td><td>30名</td><td>11名</td></tr> <tr> <td>県立美術館</td><td>展示室で造形体験!学習キット「ビルダーカード」で何をつくる?</td><td>50名</td><td>9名</td></tr> </tbody> </table> 日程:① オリエンテーション ※時間は講座により異なる ② 講義・体験			協力機関	講座名	募集定員	参加者数	聖徳大学	Midi Art で音楽を楽しもう	20名	8名	千葉大学	最新の農業はすごいことになっている	10名	10名	城西国際大学	マッシュルームを使った美白化粧品の効果と練香水の作製	10名	10名	産業技術総合研究所	「働く」を科学する	20名	10名	県立現代産業科学館	プログラミング教室(入門)	30名	11名	県立美術館	展示室で造形体験!学習キット「ビルダーカード」で何をつくる?	50名	9名
協力機関	講座名	募集定員	参加者数																												
聖徳大学	Midi Art で音楽を楽しもう	20名	8名																												
千葉大学	最新の農業はすごいことになっている	10名	10名																												
城西国際大学	マッシュルームを使った美白化粧品の効果と練香水の作製	10名	10名																												
産業技術総合研究所	「働く」を科学する	20名	10名																												
県立現代産業科学館	プログラミング教室(入門)	30名	11名																												
県立美術館	展示室で造形体験!学習キット「ビルダーカード」で何をつくる?	50名	9名																												

	③ アンケート記入、閉講
参加者 アンケート	【満足度100%】 《聖徳大学》 ○絵と音楽の両方を同時にできて、楽しかった。 ○自分が描いた絵から曲ができることにとても興味を持った。 《千葉大学》 ○普段行けない場所で色々なことを体験できてよかった。イチゴの話がおもしろかった。 ○人工光で野菜を育てられると知っていたが、こんなに進んでいるとは知らなかった。 《城西国際大学》 ○実験がおもしろかった。マッシュルームの色が変化したことにびっくりした。 ○日焼けとその予防法を知ることができておもしろかった。 《産業技術総合研究所》 ○最先端の技術について、たくさん知ることができて良かった。 ○働くことや自分の将来の夢を考えたり、AIのことを学べたりして勉強になった。 《県立現代産業科学館》 ○プログラミングをするのが楽しかった。 ○MESH(メッシュ)とはいろんなことに使われていたり、使えたりしてすごいと思った。 《県立美術館》 ○パズルみたいに組み上げることが楽しかったです。 ○ビルダーカードに興味を持ったので、またこの講座に参加したいです。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、大学、研究所、関係機関と連携して様々な講座を実施することにより、子どもたちの知的好奇心を育み、「ホンモノ」から学ぶ楽しさや自らの学びを広げ、深めるという目的を達成することができた。 ・講座内容については、座学と体験を組み合わせた構成で実施し、子どもたちの知的好奇心や学ぶ意欲を高めるものとなった。 ・受講生のアンケートについては、いずれの協力機関の講座も満足度100%と高い結果が得られた。 ・支援体制については、協力機関におけるスタッフのサポートにより、実験などの体験活動においても怪我や事故無く、円滑に講座を進めることができた。 【課題・今後の方向性】 ・講座運営については、当所とは別会場での実施のため、協力機関の担当職員と講座内容や運営方法の打合せや連絡を密に行うことが重要である。 ・実施時期については、8月に実施した機関が主であった。今後も子どもたちが参加しやすい夏休み中が最適だと考えるが、当所の事業や協力機関講師の都合があるため、協力機関担当と相談の上、適切な開催日を決定する必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6年 6月 16日(日)		
事業名	さわやか青年教室		
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。		
会 場	当所フィットネススタジオ 柏市立十余二小学校体育館		
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方		
申込方法	Web又は葉書、来所		
募集定員	40名程度	募集期間	令和 6年 4月 17日から令和 6年 5月19日
参加者数	37名	参加費用	無料
講師 等	NPO法人スマイルクラブ 理事長 大浜 あつ子 氏 他1名		
実施内容	参加人数:受講生37名(5 名欠席)、講師 2 名、ボランティア講師 2 名、学生ボランティア 2 名、体験ゼミナール生9名が参加。 活動内容:第 1 回「スポーツ教室」 日 程:10:00～12:00 ①始めの会(オリエンテーション、自己紹介) ②スポーツ教室(軽運動、風船バレーボール) ③終わりの会(次回の連絡、アンケート記入) 活動後、ボランティア、職員で反省会		
	   ルール説明 準備体操を兼ねた軽運動 風船バレーボールの試合		

参加者 アンケート	【満足度100%】 ○風船バレーはとても楽しかったです。風船を投げることができて良かったです。 ○風船は割れちゃったけど楽しかったです。 ○白熱の戦いでした。怪我なく頑張った。バレーの練習します。 ○試合で2勝しました。とても良い試合ができて良かったです。楽しかったです。 ○いろんな体験ができて良かったです。 ○くやしい。もうちょっと勝てると良かった。またやりたい。 ○優勝はできなくて残念だったけど、次は優勝したいです。 ○久しぶりの風船バレーの試合はとても面白かったです。次回は皆さんと一緒にやりたいです。 ○友達ができました。仲良くできました。3位、やったって思いました。 ○満足した。 ○理解できた。 ○優勝して嬉しかった。 ○ありがとうございました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、風船バレーボールという活動が本講座の受講生に適しており、「充実した社会生活を営むことを目指した余暇支援」を実現できたと考えられる。 ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果が得られた。 ・安全面については、講師が活動内容やルールを工夫してくださったことで、どの受講生も楽しむことができた。また、当日は気温が高かったが、無理のないスケジュール設定と水分補給指示により、皆、熱中症や怪我無く活動できた。 ・支援体制については、ボランティア講師や学生を各グループに割り当て、支援計画をしたことで、受講生はグループ内で協力し、円滑に講座を進めることができた。 ・支援内容については、職員やボランティア講師が受講生の様子を観察し、適切に声掛けをしたり、誘導補助を行ったりしたことで、どの受講生も落ち着いて活動できた。 【課題・今後の方向性】 ・活動内容については、今回は第1回目で、受講生同士が知り合う場としての講座であり、風船バレーボールをチーム戦で行うことは適していた。 ・実施時期については、気温が高い日があり、検討が必要である。 ・ボランティアについては、依頼している大学の学生が2名と少なかった。今回は、ゼミ生の運営補助があり円滑に運営ができたが、次回からは他大学にも協力を依頼し、ボランティア学生を増やしたい。 ・配慮を要する受講生については、サポート体制を整え、また、講師やボランティアとコミュニケーションを図ることで、引き続き円滑な講座運営を行いたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6年 7月21日(日)・ 令和 6年 9月 8日(日)		
事業名	さわやか青年教室		
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。		
会 場	当所フィットネススタジオ及び料理室		
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方		
申込方法	Web又は葉書、来所		
募集定員	40名程度	募集期間	令和 6年 4月 17日から令和 6年 5月19日
参加者数	7月21日:33名、 9月8日:28名	参加費用	料理材料費500円
講師 等	ヨガ教室:ハンディキャップヨガ関東 山崎礼子氏 他1名 料理教室:一般社団法人 日本糀文化協会代表理事 大瀬由生子氏		
実施内容	参加人数:		
		令和6年7月21日(日)	令和6年9月8日(日)
	受講生	33名(9名欠席)	28名(14名欠席)
	講師	3名	3名
	ボランティア講師	3名	2名
	学生ボランティア	6名	4名
	インターンシップ等	1名	1名
	活動内容:第2回 1～3 班:ヨガ、4～6 班:料理 第3回 1～3 班:料理、4～6 班:ヨガ		
	日 程:10:00～12:00		
	①始めの会 (オリエンテーション、講師及びボランティア紹介)		
②ヨガ・料理教室			
③終わりの会 (次回の連絡、アンケート記入)			
活動後、ボランティア、職員で反省会			
			
ヨガの様子			
			
料理の様子			



ヨガの様子



料理の様子

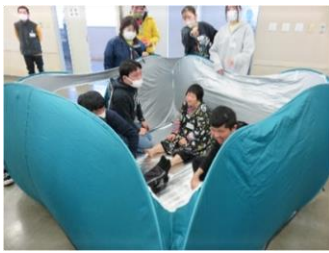
参加者 アンケート	【満足度98%】	
	ヨガ教室 ○楽しかった。 ○気持ちよかった。 ○体が楽になった。 ○先生ありがとう。 ○がんばった。 ○またやりたい。 ○英雄のポーズがよかった。 ○家でもたくさん真似してやってみたい。	料理教室 ○とても楽しかった。 ○おいしくできて良かった。 ○トマトの甘さが感じられた。 ○落ち着いて料理ができて良かった。 ○また参加できることが楽しみ。 ○家でチャレンジする。 ○また作りたい。 ○次回は肉まん、ギョーザを作りたい。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、ヨガや料理が「スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動」及び「社会生活の質の向上を目指す学習支援活動」の視点において、受講生に学びの機会となる場を提供し、充実した社会生活を営むこと目指した支援が実現できた。 ・受講生のアンケートについては、満足度が98%と高い結果が得られたが、料理の難易度が高いと感じていた受講生がいた。 ・安全面については、ヨガ講師による受講生の特性に応じた活動内容の工夫により、受講生は楽しむことができた。料理は、十分火を通すメニュー（トマトパスタ）にしたこと、また、マスクやアルコール消毒を用意し、手洗い励行に努めたことで、食中毒を防ぐことができた。 ・支援体制については、ボランティア講師や学生を各グループに割り当て、支援計画をしたことで、怪我や事故無く、円滑に講座を進めることができた。 ・支援内容については、職員やボランティア講師が受講生の様子を観察し、ヨガにおける体の曲げ伸ばし、料理における包丁の取り扱い等において適切に支援したことで、受講生は落ち着いて活動できた。	
	【課題・今後の方向性】 ・ヨガの活動内容については、受講生の特性を考慮したプログラムを組み、個々が無理なく活動できるため、最適な活動であった。 ・料理の活動内容については、電子レンジを使う等の工夫をすると、受講生がさらに家庭生活でも実践しようと思える内容になると考える。 ・活動方法については、受講生を2グループ入替制にし、ヨガと料理を両方体験できる方法が適していた。 ・サポート体制については、当所職員の他、ボランティア講師、依頼している大学の学生ボランティア、学生インターンシップ等の補助により、円滑に運営ができた。	

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6年10月27日(日)・ 令和 6年11月17日(日)																	
事業名	さわやか青年教室																	
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。																	
会 場	第4回 当所中研修室2及び陶芸室 第5回 当所中研修室2及び手工芸室																	
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方																	
申込方法	Web又は葉書、来所																	
募集定員	40名程度	募集期間	令和 6年 4月 17日から令和 6年 5月19日															
参加者数	10 月 27 日芸術13名、音楽20名 11 月 17 日芸術11名、音楽 20 名	参加費用																
講師 等	芸術教室(陶芸)：県立東葛の森特別支援学校 鈴木幸保氏 芸術教室(折り紙)：日本折紙協会認定講師 折り紙の会西原 濱田クミ子氏 音楽教室：県立特別支援学校流山高等学園 平瀬麻依子氏																	
実施内容	参加人数：<table><tr><td></td><td>令和6年10月27日(日)</td><td>令和6年11月17日(日)</td></tr><tr><td>受講生</td><td>33名(9名欠席)</td><td>31 名(11 名欠席)</td></tr><tr><td>講師</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>ボランティア講師</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>学生ボランティア</td><td>6名</td><td>5名</td></tr></table> 活動内容：第4回 芸術(陶芸)教室・音楽教室 第5回 芸術(折り紙)教室・音楽教室 日 程：10:00～12:00 ①始めの会 (オリエンテーション、講師及びボランティア紹介) ②芸術・音楽教室 ③終わりの会 (次回の連絡、アンケート記入) 活動後、ボランティア、職員で反省会				令和6年10月27日(日)	令和6年11月17日(日)	受講生	33名(9名欠席)	31 名(11 名欠席)	講師	2名	2名	ボランティア講師	2名	2名	学生ボランティア	6名	5名
	令和6年10月27日(日)	令和6年11月17日(日)																
受講生	33名(9名欠席)	31 名(11 名欠席)																
講師	2名	2名																
ボランティア講師	2名	2名																
学生ボランティア	6名	5名																

	 芸術(陶芸)教室の様子	 芸術(折り紙)教室の様子	 音楽教室の様子	
参加者 アンケート	【満足度100%】			
	<table><thead><tr><th>芸術教室</th><th>音楽教室</th></tr></thead><tbody><tr><td>【陶芸】 ○楽しかった。おもしろかった。 ○かわいい犬ができた。 ○透明の色が楽しみ。 ○ものすごくいいものができた。 【折り紙】 ○楽しかった。上手く折れてよかった。 ○折り紙でサンタとミニバッグを作ることが難しかったですが、おもしろかった。 ○最初は難しかったけど折り方を教えてくれたので、なんとかできました。 ○また折り紙をやってほしい。</td><td>○楽しかった。 ○上手く歌えてよかった。 ○「ビリーブ」「翼をください」「にじ」を歌えて楽しかった。 ○皆さんと一緒にトーンチャイムをやれて楽しかった。 ○トーンチャイムで演奏したり歌を歌ったりして楽しかった。またやりたい。 ○知っている曲だったので、楽しかった。 ○「にじ」の曲で指揮と手話、ダンスをして楽しかった。 ○音の長さを合わせるのが難しかった。</td></tr></tbody></table>	芸術教室	音楽教室	【陶芸】 ○楽しかった。おもしろかった。 ○かわいい犬ができた。 ○透明の色が楽しみ。 ○ものすごくいいものができた。 【折り紙】 ○楽しかった。上手く折れてよかった。 ○折り紙でサンタとミニバッグを作ることが難しかったですが、おもしろかった。 ○最初は難しかったけど折り方を教えてくれたので、なんとかできました。 ○また折り紙をやってほしい。
芸術教室	音楽教室			
【陶芸】 ○楽しかった。おもしろかった。 ○かわいい犬ができた。 ○透明の色が楽しみ。 ○ものすごくいいものができた。 【折り紙】 ○楽しかった。上手く折れてよかった。 ○折り紙でサンタとミニバッグを作ることが難しかったですが、おもしろかった。 ○最初は難しかったけど折り方を教えてくれたので、なんとかできました。 ○また折り紙をやってほしい。	○楽しかった。 ○上手く歌えてよかった。 ○「ビリーブ」「翼をください」「にじ」を歌えて楽しかった。 ○皆さんと一緒にトーンチャイムをやれて楽しかった。 ○トーンチャイムで演奏したり歌を歌ったりして楽しかった。またやりたい。 ○知っている曲だったので、楽しかった。 ○「にじ」の曲で指揮と手話、ダンスをして楽しかった。 ○音の長さを合わせるのが難しかった。			
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、陶芸や折り紙、音楽活動が「レクリエーション等の余暇支援活動」の視点において、受講生に学びの機会となる場を提供し、充実した社会生活を営むこと目指した支援が実現できた。 ・活動内容については、どの活動も受講生が取り組みやすい内容を計画したことで充実したものとなった。 ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果であった。事前アンケートをとり、芸術か音楽の好む活動を選択し参加したことで、高い満足度が得られた。 ・支援体制については、ボランティア講師や学生を各グループに割り当て、支援計画をしたことで、円滑に講座を進めることができた。			
	【課題・今後の方向性】 ・陶芸の活動内容については、講師による粘土形成の事前準備により、受講生は容易に取り組むことができた。陶芸は最適な活動だが、作るものを検討する必要がある。 ・折り紙の活動内容については、折り紙に目印をつけたり、実物投影機を活用したりすると、さらに円滑に活動できると考える。受講生の特性に応じた支援が必要である。 ・音楽の活動内容については、トーンチャイム、手話、ダンス等を取り入れた演奏は、受講生にとって馴染みのある活動であり、楽しく参加できるため、最適な活動である。			

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7年 2月 9日(日)		
事業名	さわやか青年教室		
趣 旨	知的障害のある青年を対象とし、充実した勤労生活を送るための技能を習得したり、社会生活の質の向上を目指したりする学習支援活動、スポーツ・レクリエーション等の余暇支援活動など、学びの機会となる場を提供することにより、よりよい社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す。		
会 場	当所大研修室		
対 象	18歳以上50歳未満の知的障害のある方		
申込方法	Web又は葉書、来所		
募集定員	40名程度	募集期間	令和 6年 4月 17日から令和 6年 5月19日
参加者数	30名	参加費用	無料
講師 等	障害児相談支援事業 レール K 代表 市岡 武 氏 柏市生涯学習課職員		
実施内容	参加人数:受講生30名(12名欠席)、講師2名、学生ボランティア7名が参加。 活動内容:第6回「学習教室(防災)」 日 程:10:00~12:00 ①始めの会(オリエンテーション、自己紹介) ②学習教室(動画視聴、防災グッズ紹介及び体験) ③終わりの会(次回の連絡、アンケート記入) 活動後、ボランティア、職員で反省会  災害についての動画視聴  避難グッズの紹介  簡易パーテーション体験  簡易ベッド体験		

参加者 アンケート	【満足度100%】 ○防災について勉強できて楽しかった。 ○震災の話を聞けて勉強になった。 ○避難場所に持って行く物を覚えられてとても良かった。 ○避難の時、自分の力で行動できるようにすることが大切だと知った。 ○家族と相談して行動計画を作っていきたい。 ○キャンプ場のテントみたいで、寝てみて気持ち良かった。 ○プリント(避難計画)があるなんて知らなかった。 ○なるほどと思った。 ○震災は怖いと思った。 ○動画は少し難しかった。 ○パーテーションやベッドの体験は楽しかった。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、防災学習教室にて災害時の行動や備えについて学ぶ場を提供したことにより、「社会生活・家庭生活を送るために必要とされるルールや技能を身につけ、充実した社会生活を営むことを目指す」が実現できたと考えられる。 ・講座内容については、前半が震災についての動画視聴、後半が防災グッズ体験という座学と体験を組み合わせた構成は、受講生の理解を深めるものとなった。 ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果が得られた。 ・支援体制については、学生ボランティアを各グループに割り当て、支援計画をしたことで、怪我や事故無く、円滑に講座を進めることができた。 ・支援内容については、職員やボランティアが受講生の様子を観察し、適切に声掛けをしたり、トイレや活動場所の移動補助を行ったりしたことで、受講生は落ち着いて行動することができていた。 【課題・今後の方向性】 ・学習内容については、防災教室は数年前にも行ったことがあるが、新しい情報も取り入れながら繰り返し学ぶことで知識が定着するため、有効だと考える。 ・会場については、大研修室の前半部分にて座学、後半部分の机を畳み体験スペースとしたが、適切であった。 ・学生ボランティアについては、今回は各グループに1, 2名を割り当て、円滑に展開できたが、活動内容によっては各グループに2名の割り当てができると良い。大学へ依頼し、学生ボランティアを増やしたい。 ・配慮を要する受講生については、サポート体制を整え、また、講師やボランティアとコミュニケーションを図ることで、引き続き円滑な講座運営を行いたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	○ワークショップ ①5月25日(土) ②6月15日(土) ③6月22日(土) ④7月 6日(土) ⑤8月24日(土) ⑥9月 7日(土) ⑦9月21日(土) ⑧10月12日(土) ⑨10月19日(土)⑩11月2日(土) ⑪11月16日(土)⑫11月23日(土) ⑬12月 7日(土)⑭1月11日(土) ⑮1月18日(土) ○コンサート ・晩秋のコンサート 令和6年11月24日(日) ・新春のコンサート 令和7年 1月19日(日)		
事業名	令和6年度 音楽ワークショップ		
趣 旨	県内の優れた吹奏楽指導者を講師に迎え、公募した演奏者により結成した吹奏楽団によるワークショップ及びコンサートを開催し、芸術文化活動を支える人材の育成を図るとともに、県民に吹奏楽の演奏を鑑賞する機会を提供し、吹奏楽の素晴らしさを伝え、参加型芸術文化活動の推進を図る。		
会 場	さわやかちば県民プラザ アゴラ		
対 象	どなたでも		
申込方法	WEB 又は電話申込		
募集定員		募集期間	令和6年5月10日申込締切
参加者数	148名	参加費用	5,000円
講師 等	開智国際大学 教授 石田 修一 氏 千葉県吹奏楽連 理事 大野 洋一 氏 野田市立南部中学校 教諭 金子 孝澄 氏 柏市立松葉中学校 教諭 北村 俊彦 氏		
実施内容	県内有数の指導実績を誇る講師指導の下、公募により募った団員により、年間15回の練習と2回のコンサート(晩秋・新春)を実施。また、事務局会議、運営委員会において楽団の運営方針を決定する。 【練習】 17:30～18:00 椅子や楽器等の開錠準備 18:00～20:00 練習 20:00～20:30 後片付け 20:30 完全撤収 【コンサート】 9:15～12:00 リハーサル 12:00～13:00 昼休憩 13:00～13:30 音出し 13:30～13:50 入場準備 13:50～14:00 入場 14:00～16:00 コンサート 16:00～16:30 後片付け		
参加者アンケート	【満足度98%】 ○大変お世話になりました。これだけのワークショップを運営するには、わからないところで、たくさんの支援をいただいていると思います。あらためて、感謝の気持ちで一杯です。		

	○皆さん優しくて講師の方々の指導も分かりやすくて楽しかったです。練習日を全部参加するというのはなかなか難しいですね。ありがとうございました！ ○講師の先生方にご指導いただき、学ぶことも多くて貴重な体験となりました。そして大勢でやる吹奏楽がすごく楽しかったです。 ○今年度もお世話になり、ありがとうございました。仕事をしながら続けられるこの団に巡りあえて、大好きな吹奏楽を長く続けられること、プラザの皆さまや講師の先生、運営の方々に心より感謝申し上げます。来年度から形は変わってしまいますが、体力の続く限りは続けて行きたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「芸術文化活動を支える人材の育成」、「参加型芸術文化活動の推進」については、柏の葉吹奏楽団員が自主的・意欲的に活動を行い、地域に根差した楽団を目指すことができた。 ・本事業の運営については、事務局と綿密に連携し、次年度からの自主運営化へ向けて準備を進めることができた。 ・楽団員は、毎回の練習での会場設営やコンサート前日準備、当日受付係と率先して活動に励んでいた。 ・楽団員の活動満足度については、99%と高く、概ね満足していた。前向きに参加している団員がほとんどである。 【課題・今後の方向性】 ・次年度以降は、当所が協力として活動支援を行い、柏の葉吹奏楽団の自主運営となる。 ・年15回の練習と、2回のコンサートは継続する。 ・事務局員の負担が大きいため、他の団員で仕事を分担することができるよう後継の育成が必要である。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6 年 6 月 2 0 日(木)		
事業名	千葉県公民館等職員研修		
趣 旨	各市町村の公民館職員等の、主に経験の浅い担当者を対象に公民館職員として必要な知識や求められる役割等についての理解を深め、その資質向上を図る。		
会 場	千葉市生涯学習センター（千葉市中央区弁天 3－7－7）		
対 象	公民館職員、社会教育施設職員、社会教育・生涯学習関係職員等		
申込方法	W e b 申込み		
募集定員	5 0 名	募集期間	令和 6 年 4 月 2 6 日から令和 6 年 6 月 6 日
参加者数	対面 2 1 名 オンライン 2 2 名	参加費用	
講師 等	栃木県立真岡工業高等学校 校長 井上 昌幸 氏 (前栃木県総合教育センター生涯学習部長)		
実施内容	共催： 千葉県公民館連絡協議会 公民館及び公民館職員の役割や公民館職員に期待することについて対面及びオンラインでの講座。		
参加者アンケート	【満足度 100%】 ○公民館職員としての取組チェックをいただけたことで、これからの目標が可視化できた。学校は地域との連携に対してプラス感情を持っていると分かったので、積極的にお声掛けしていきたい。 ○自館の具体的な課題が見えた。課題を解決するための考え方や地域の方々の導き方など具体的に示していただきながらの説明だったので、よく理解できた。 ○順序立てて体系的に教えていただき、公民館に今求められていることの全体像がよくわかった。日常業務を振り返ることと、全体を俯瞰して見ること両方の視点を日頃から持ちたいと思う。 ○オンラインでの開催もあり、参加しやすくてよかった。		
担当者の所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「公民館職員として必要な知識、求められる役割等の理解」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が 1 0 0 %であった。講座内容の充実や講師の話し方が分かりやすかったことが要因であると考ええる。 ・講師については、文部科学省、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター等で、長年に渡り社会教育・生涯学習に携わってきた経験から、参加者が自分事として捉えることができる事象を取り上げながら講義を進めていた。すぐに実践す		

	ることができる内容に満足する受講者も多かった。 ・実施形式については、対面とオンライン（Zoom）でのハイブリット形式で行った。参加者は、ニーズに合わせて形式を選択できたため満足度が高かったと考える。 ・対面では、参加者同士の関わりを大切に、グループワークを実施した。他公民館での様子や取組を知ることができ、有意義であった。 【課題・今後の方向性】 ・講座内容と講師の選定については、例年、悩む点である。アンケート結果を参考にし、参加者が求める内容を加味したうえで必要な知識等を身に付けられるように講座を企画していきたい。 ・講座形式については、対面とオンラインのハイブリット形式で行うのが良いと考える。運営上、特にオンライン受講の参加者に対してのグループワーク等での配慮が必要不可欠となるため、職員の役割分担を適切にしたい。 ・会場については、千葉市生涯学習センターで実施しているが、当所で行う講座についてもオンラインによる配信について円滑に進められるよう、機材の準備や事前の試行を重ねていきたい。
--	--

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6 年 7 月 1 2 日(金)・9 月 4 日 (水)		
事業名	千葉県社会教育担当者研修会		
趣 旨	社会教育主事及び社会教育士、社会教育担当者等を対象に、今後の社会教育や社会教育施設の在り方について理解を深めるとともに、実践的な技術を身につけ、資質の向上を図る。		
会 場	オンライン		
対 象	県・市町村社会教育主事及び社会教育担当者、社会教育士等		
申込方法	W e b 申込み		
募集定員	各回 4 0 名	募集期間	令和 6 年 5 月 9 日から令和 6 年 6 月 2 8 日
参加者数	第 1 回 2 2 名 第 2 回 3 1 名	参加費用	
講師 等	第 1 回 青山 鉄兵 氏 【文教大学人間科学部人間科学科 准教授】 第 2 回 皆川 雅樹 氏 【産業能率大学経営学部 教授】		
実施内容	共催:千葉県公民館連絡協議会 第 1 回は、「社会教育・生涯学習担当者に求められる役割」をテーマに社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得を目的とした内容の講義。 第 2 回は、「対話のためのファシリテーションスキルの向上」をテーマに現場で活用できる実践的なスキルの習得を目的とした内容の講義。		
参加者アンケート	【満足度 総合90.0% (第1回100% 第2回 83%)】 ○これまで社会教育の定義が曖昧なまま業務に取り組んでいたが、今回学ぶことができた。今後の業務に生かしていきたいと思う。他市の社会教育事業について共有する機会がほしい。 ○地域学校協働活動や地域づくりなど近年の流れにも触れていただき参考になりました。最後、市長部局への移管「社会教育的かどうか」についてももう少し伺いたかったです。 ○公民館現場で 7 年勤務していたが、公民館側には社会教育についての意識・知識があまりないと感じた。公民館の職員にも研修として参加してもらおう機会があってもいいな、と感じました。 ○対話・会話・討議・議論の分類については、話し合うことをどのようなステージに位置付けられているかがとても分かりやすく、今後、ファシリテーターを行う上でとても参考になった。		

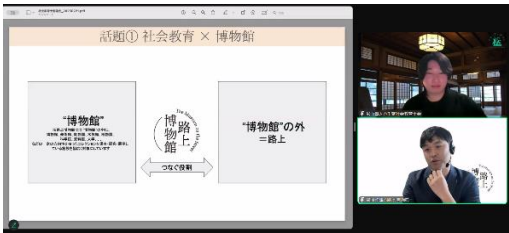
	○役場で関連団体の事務局もやっており、様々な会議にて意見を決定する場があるので、事務局がファシリテーターの立場となり、様々な意見を伺い、うまく結論やゴールに持っていけるようにしていきたいです。 ○ファシリテーションスキルということについて、学ばせていただいて、これは、講座担当に限らず、通常のさまざまな場面で必要とされるものだと感じました。もう少し勉強させていただきたい気持ちです。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得」「現場で活用できる実践的なスキルの習得」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が90%であった。講座内容の充実や講師の話し方が分かりやすかったことが要因であると考えます。 ・実施形式については、オンライン（Zoom）形式で行った。受講者は、所属先より研修に参加することが出来るため、県内広範囲にわたっている。 ・第2回については、ブレイクアウトルームを設定し参加者がワークを通じて各グループ内で話し合いが行われるなど、実践的な研修になり有意義であった。 【課題・今後の方向性】 ・講座内容と講師の選定については、例年、課題である。アンケート結果を参考にし、参加者が求める内容を加味したうえで必要な知識等を身につけられるように講座を企画していきたい。 ・オンライン形式については、実施要項や受講決定通知を通じてグループワーク（ブレイクアウトルームにて）への参加をうたったが、今回受講者の約4割が聴講のみの参加であった。職務等の都合で、聴講のみの参加も仕方ない場合もあるが、できるだけ多くの受講者にグループワークへの参加を促したい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6 年 12 月 3 日(火)		
事業名	学校卒業後における障害者の学び支援事業 「障害者の学び」研修会		
趣 旨	市町村行政職員や公民館等の社会教育施設職員を対象とする学校卒業後の障害者の学び研修会を開催することで、「学校卒業後における障害者の学びの支援事業」の成果や課題を共有し、県内に障害者の学びの場の普及を図る。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	市町村生涯学習・社会教育・福祉担当課職員、公民館等の社会教育施設職員、県内特別支援学校教職員等		
申込方法	当所ホームページ研修詳細ページ内「Web 申込」又は二次元コードから申し込む。		
募集定員	60名程度	募集期間	令和 6年10月 7日から令和 6年11月27日
参加者数	28名(受講者23名ファシリテーター5名)	参加費用	
講師 等	さわやか青年教室 講 師 平瀬麻依子 氏 さわやか青年教室 受講生 阿部 晃弘 氏		
実施内容	日程: (1)開会 13:30~13:40 主催者挨拶 (2)研修 13:40~15:50 ①社会教育施設への普及について 「令和3年度からの実践報告」さわやかちば県民プラザ 事業振興課 ②発表 「障害のある方を対象とした講座に参加して」  さわやか青年教室 講 師 平瀬麻依子 氏  さわやか青年教室 受講生 阿部 晃弘 氏 ③グループワーク 「障害のある方を対象とした講座を考えてみよう」  グループワークの様子1  グループワークの様子 2  各グループからの発表の様子 (3)閉会 16:00		

参加者 アンケート	【満足度 95%】 ○事業報告について ・非常にわかりやすく県民プラザで行っていることがよく分かりました。公民館業務に生かせるようにします。 ・県としての障がい学習支援やこれまでの取組についても学ぶことができこれから講座に向けて学ぶことができた。 ○発表について ・障がい者の方と普段から関わりのある先生から具体的な注意点をお聞きしたり、受講生本人から意見を聞くことができ様々な発見をすることができた。 ・ご本人の話がとても響きました。 ○グループワークについて ・自分の意見をみんなが言うことができ良いグループだったと思う。 ・普段話す機会のない方たちとそれぞれの立場で意見交換することができ、勉強になりました。 ○本研修会について ・このような研修は必要だと思います。ぜひ続けてほしいと思います。 ・当事者の「どう学びたい」が知りたいです。 ・さわやか青年教室参加者の声を伺うことができ、より実感的に事業を考えることができました。 ・障害者向け講座について様々な新たな発見・知識をつけることができとてもためになりました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である『「学校卒業後における障害者の学びの支援事業」の成果や課題を共有し』については、「令和3年度からの実践報告」により共有できたと考える。（参加者アンケートの事業報告についての結果からも共有できたと考える。）「県内に障害者の学びの場の普及を図る。」については、障害者を対象とした講座の講師及び受講生からの発表と、グループワークによって障害者を対象とした講座を受講者自ら立案・計画することで、障害者対象講座実施の期待が高まると考える。 ・グループワークについては、過去の実施講座担当者がファシリテーターになったことで、ファシリテーターの経験を踏まえてワークが進められ、円滑かつ有意義であった。 【課題・今後の方向性】 ・次年度の研修会の内容については、今回のグループワーク形式主体での実施とするか、講演または昨年度実施のシンポジウムとするかテーマを含めコーディネーターをふまえて検討していきたい。 ・申し込み方法については、「プラント」による申込者を把握できていなかったことが課題である。今後は、県生涯学習課に確認することも必須だが、当所が「プラント」による申込者を直接把握できるよう対処する必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年2月27日(木)		
事業名	生涯学習・社会教育実践研究交流会		
趣 旨	地域における生涯学習・社会教育の中核を担う社会教育主事等及びNPOや地域の社会教育関係団体関係者等、各市町村教育行政関係者等が一堂に会し、講演や実践発表、情報交換を行うことにより、参加者の資質向上や分野を問わない横の連携の構築を図る。		
会 場	オンライン開催(Zoom)		
対 象	生涯学習・社会教育に関わっている方や興味のある方 社会教育主事、社会教育士、社会教育主事有資格者、NPO等関係者、 社会教育関係団体関係者、社会教育・生涯学習担当職員、学校関係者 等		
申込方法	Web 申込		
募集定員	50名	募集期間	令和7年1月12日から令和7年2月13日
参加者数	33名(参加者29名、講師4名)	参加費用	無料
講師 等	【基調講演】 文部科学省 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育調査官 白井 淳子 氏 【事例発表】 ①千葉社会教育士会 副会長 影山 貴大 氏 一般社団法人路上博物館 理 事 齋藤 和輝 氏 ②NPO法人えんてらす、南流山子ども食堂の会 代表 金川 聡美 氏		
実施内容	内容: ウェルビーイングの向上～地域とつながる生涯学習～ 日程: 午後12時55分～午後1時 オリエンテーション 午後1時 ～午後2時 基調講演 午後2時5分 ～午後2時55分 事例発表 午後3時5分 ～午後4時15分 参加者同士の交流会 午後4時15分 ～午後4時30分 諸連絡、閉演  基調講演  事例発表①		

	 事例発表②
参加者 アンケート	【基調講演：満足度100%】 ○今まで見たことも聞いたこともなかったことに触れることができる、社会教育での学びにおいてとても大きな価値だと思う。「社会教育士」としての価値は、おそらくそんなつながりをサポートするところにあるのかもしれないと思った次第である。 ○中教審の指針を呼んでもウェルビーイングという言葉が沢山出てくる。その意味・内容が丁寧な解説で理解できたように思う。地域(自治会)でどのような仕掛けをしていったらよいのかも少しわかった。 【事例発表：満足度100%】 ○路上博物館は非常に興味深い活動だと思った。また「サイレント閉館」については危機感を感じた。 ○子ども食堂の事例は身近なことなのでこちらの子ども食堂でも生かせると感じた。 【交 流 会：満足度100%】 ○今回、同じ市内や隣の市に社会教育の活動を展開されたり、悩まれていたりされる方の存在をリアルに知ることができた。 ○活動地域と居住地が行政区分とは少し違っているため交流したかった地域の方々とはお話があまりできず、少しだけ残念だった。 【全体感想】 ○現在所属がなく、個人で社会教育の領域で活動できればと検討中。今後もこのような交流の機会をいただけると嬉しい。 ○国社研に行って聞くような内容をオンラインで聞けて、ありがたかった。その反面、対面で皆さんとお会いしたかった。 ○先日、岩手県の生涯教育発表会にオンライン参加して、そのイメージを持って臨みましたが良い意味で裏切られ、大変満足している(とても、開放的な感じで good)。企画にはご苦労が多いかと思われるが、これからもこのような機会を提供いただきたい。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「講演や実践発表、情報交換を行うことにより、参加者の資質向上や分野を問わない横の連携の構築を図る。」については、「ウェルビーイング」をテーマに基調講演、事例発表、交流会とスムーズな流れで展開することができ、参加者からは100%の満足度を得られた。 ・交流会については、所属や団体を問わない交流と地域ごとの交流に分けることで地域同士の連携を図る一助となったと感じている。

【課題・今後の方向性】

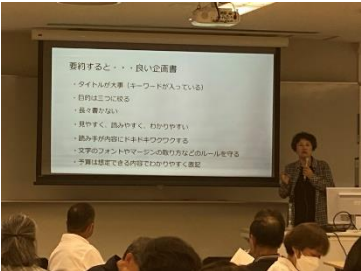
- ・参加者については、事前に途中退席をしないようにアナウンスしていなかったため、途中退席が目立った。そのため、参加者同士の交流会では事前にグループ分けしていたものが意味を為さなくなってしまった。途中退席をしないように申込みの段階でアナウンスする必要がある。
- ・オンライン開催については、インターネット環境に左右される部分が多い。実際に講座中も運営側のパソコン2台の回線が途切れてしまっていたため、予備機の準備は必須であると感じた(今回別で2台、計4台のパソコンで運営を行った。)

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	(柏)令和6年6月16日(日)・令和6年7月21日(日)・令和6年9月15日(日) (東金)令和6年6月16日(日)・令和6年6月23日(日)・令和6年9月15日(日) (香取)令和6年6月15日(土)・令和6年6月16日(日)・令和6年9月15日(日) (君津)令和6年6月15日(土)・令和6年6月16日(日)・令和6年8月31日(土) (鴨川)令和6年6月8日(土)・令和6年6月29日(土)・令和6年9月8日(日)																																	
事業名	高校生のためのボランティア講座																																	
趣 旨	高校生がボランティア体験を通して多様な他者や社会と関わることにより、自己の在り方・生き方を見つめ直すとともに、ボランティアに関する知識や理解を深め今後のボランティア活動に取り組む動機付けとすることをねらいとする。また、自発的・主体的に地域に根ざしたボランティアを体験することにより自らが生活している地域に目を向けさせる。																																	
会 場	(柏)さわやかちば県民プラザ (東金)県立東金青少年自然の家 (香取)県立水郷小見川青少年自然の家 (君津)君津市生涯学習交流センター (鴨川)県立鴨川青少年自然の家																																	
対 象	・県内に在住、または県内の高等学校に通学していること。 ・ボランティア活動に対して意欲・関心を持っていること。 ・原則として、希望する1会場の全日程(3日間)に参加できること。																																	
申込方法	各高等学校の担当職員が受講生をとりまとめ、当所ホームページより申込む。																																	
募集定員	(柏)50名 (他会場)30名	募集期間	令和6年4月12日から令和6年5月15日																															
参加者数	225名		参加費用	無料																														
講師 等	神田外語大学 石井雅章 氏 ・ 手賀の丘青少年自然の家 安部圭佑 氏 ディープデモクラシーセンター 加納基成 氏 ・ 県立柏特別支援学校 新井紀 氏 我孫子市社会福祉協議会 藤田絵里 氏 ・ 南流山子ども食堂 金川聡美 氏 他18名																																	
実施内容	主催： さわやかちば県民プラザ・県立東金青少年自然の家・県立水郷小見川青少年自然の家・ 県立君津亀山青少年自然の家・県立鴨川青少年自然の家 参加人数： <table><tr><td></td><td>応募</td><td>第1回</td><td>第2回</td><td>第3回</td></tr><tr><td>柏</td><td>145名</td><td>128名</td><td>104名</td><td>87名</td></tr><tr><td>東金</td><td>28名</td><td>27名</td><td>23名</td><td>19名</td></tr><tr><td>香取</td><td>18名</td><td>15名</td><td>14名</td><td>9名</td></tr><tr><td>君津</td><td>3名</td><td>3名</td><td>3名</td><td>3名</td></tr><tr><td>鴨川</td><td>31名</td><td>24名</td><td>23名</td><td>24名</td></tr></table>					応募	第1回	第2回	第3回	柏	145名	128名	104名	87名	東金	28名	27名	23名	19名	香取	18名	15名	14名	9名	君津	3名	3名	3名	3名	鴨川	31名	24名	23名	24名
	応募	第1回	第2回	第3回																														
柏	145名	128名	104名	87名																														
東金	28名	27名	23名	19名																														
香取	18名	15名	14名	9名																														
君津	3名	3名	3名	3名																														
鴨川	31名	24名	23名	24名																														

	日程:10:00～16:00(各会場、各回共通)    ボランティア基礎講座 白杖体験 体験についての発表
参加者 アンケート	【満足度99%】 ○世の中には様々な問題を抱えている人が多くいる事を知った。また、その人その人に合った支援をする必要がある事を改めて認識することが出来て良かった。 ○体験講座で白杖を初めて持ち、全盲の方の視点に立つことができ、「点字ブロックに誰かが立っていたら歩きにくくて迷惑だな」と感じられた。これからは点字ブロックを塞がない、助けを求めていると思ったら声をかけてみるなど、行動に移してみたい。 ○他校の同世代の人達と交流できたことや、様々なボランティア活動をしている方々からの話を聞くことが出来たので、とても有意義な時間を過ごすことができた。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「多様な他者や社会と関わる事」を通して「自己の在り方・生き方を見つめ直す」こと、「ボランティアに関する知識や理解を深め今後のボランティア活動に取り組む動機付けとすること」について、各講座において、受講生が新たな知識を習得し、日頃の活動などを見つめ直すきっかけとすることができた。 ・受講生を対象に実施したアンケートについては、満足度が全会場全講座の平均で99%と高い結果が得られた。 ・各会場において、体験や活動を含む講座を設定し、受講生が理解しやすい内容が多く設定できた。 ・活動等を通して、受講生同士が意見交換や交流などをする機会もあり、他者と関わり理解することについても実践することができた。 【課題・今後の方向性】 ・令和6年度は各会場で3回の講座を実施したが、ボランティアに関する説明が多岐に渡りすぎている部分もある。各会場の負担も考慮し、講座を2回にし、夏季休業中に1回以上のボランティアに参加する形で展開することを検討する。 ・受講者のボランティアについては、各青少年自然の家で実施している講座等のボランティア等に積極的に受け入れてもらうなどして、受講者がボランティアに参加しやすい体制づくりを検討する。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	第1回 令和6年7月25日(木) 第2回 令和6年10月17日(木)		
事業名	令和6年度「ちば学びサポーター」養成講座		
趣 旨	県民の生涯学習の成果を生かし、公民館等の社会教育施設、地域学校協働活動、NPO・団体等における地域社会での活躍を促進し、地域における生涯学習を支える人材の育成を図るため、講師力や企画力を養う講座を実施し、講座修了者を認証する。		
会 場	千葉県総合教育センター（千葉市美浜区若葉2-13）		
対 象	生涯学習ボランティア(※)として地域活動を目指す方 ※自らの生涯学習を通じて学んだことを、社会のために（主に学習の支援にかかわる活動）に生かすボランティア活動のこと		
申込方法	Web申込み		
募集定員	30名	募集期間	令和6年7月12日(金)締切り
参加者数	第1回 28名 第2回 25名	参加費用	
講師 等	岩崎 久美子 氏 【放送大学教養学部 教授】		
実施内容	主催:千葉県教育委員会 内容: 第1回「講座の企画・運営のポイント、地域課題の検討」をテーマに、講座の講師として活動していくにあたり大切なポイントについて学んだ。 第2回は、「事業広報のポイント、企画書づくり」をテーマに、ちば学びサポーターとして関わる講座やイベントの企画方法について、グループワークを通して学んだ。 2回の講座の間には、受講者が希望する場所での実地実習を各自で行った業務見学や体験を通して、ちば学びサポーターとしての活動についてさらに理解を深めた。    【良い企画書について学習中】 【グループで企画書の検討中】 【作成した企画書を発表中】		

参加者 アンケート	【満足度 第1回96% 第2回100%】 ○意欲のある方がたくさんいて、活気があっていいと思いました。地域で何か役割があるというのは、張りが出ますね。次回、もう少し理解を深めたいと思います。 ○時間が短く感じました。企画をする上で、ストーリーがあることの大切さを知ることができました。 ○国内だけではなく、海外の事例、情報についても紹介があった点、グループワークがたくさんあった点が良かったです。 ○グループワークを通して、人と人のつながりが持てて良かったです。個人ワークとグループワークの時間があり、参加しやすかったです。 ○ファシリテーション、ファシリテーターについて深く学んだことがなかったので、勉強になりました。 ○自分のやりたいことが明確になったとともに、いろいろな人と交流を深められたことが良かったです。今後はより一層学びサポーターとして活躍できるようにそして継続して行えるように地域活動に取り組んでいけたらと考えています。 ○参加者が実現させたイベント・講座の情報が欲しいです。いろいろな企画があって、アイデアが良かったし、目的や考え方もしっかりしていて、とても有意義な時間でした。多職種の視点があり、学ぶことができました。 ○企画においては、参加者がわくわくできる要素が大切であることを知りました。アピール力も大切であることも知ることができました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得」「現場で活用できる実践的なスキルの習得」については、参加者アンケート結果から、「理解できた」「ほぼ理解できた」割合が90%以上であった。講座内容の充実や講師の話し方が分かりやすかったことが要因であると考え。 ・参加申込者数については、昨年度が7名だったのに対し、今年度は29名であった。広報活動に力を入れた成果であるとともに、「ちば学びサポーター」の活動が県内に広まっていることを感じた。 ・第1回講座では、ファシリテーションの意義や手法について学びを深めた。講師として活躍するにあたり、場をデザインすることは大切であるため、有意義な内容であった。 ・第2回講座では、講座やイベントの企画書を作成し発表した。「ちば学びサポーター」として認証を受けた後、各自で活動していく際の参考になると考える。 【課題・今後の方向性】 ・受講者への「ちば学びサポーター」認定証を速やかに送付する。 ・受講者で講座の講師を希望する方には、ちばリスネットプラスでの講師登録について紹介したが、必要があれば今後の活動について相談を受け付ける。 ・実地実習の在り方、講座内容と講師選定については、今後の検討事項である。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6 年 8 月 2 4 日(土)		
事業名	Let's do it!!～体験やボランティアから学ぶ価値を肌で感じよう～ 「高校生・大学生と Let's do it !!～みんなであそぼう～」		
趣 旨	異年代が集まり、体験活動・ボランティア活動を行うコミュニティの場を提供することで、視野を広げ、社会の一員として主体的に地域活動を行えるような、自分で考え、判断し、行動することのできる人材育成、さらには人材の循環を図っていくことを目的とする。そのために段階的処置とし、小学生や中学生は、体験活動として実施し、高校生や大学生は、企画・運営する側としてボランティア活動として実施することとする。また、パイロット的事業として、県内の市町村へ広げていくための一助とする。		
会 場	大研修室、小研修室 1		
対 象	小中学生（ボランティアスタッフ高校生、大学生）		
申込方法	Web 申込		
募集定員	3 0 名程度	募集期間	令和 6 年 6 月 2 5 日から令和 6 年 7 月 2 2 日
参加者数	4 4 名、ボランティアスタッフ 1 1 名	参加費用	
講師 等			
実施内容	主催:さわやかちば県民プラザ・千葉県体験活動ボランティア活動支援センター 参加人数:参加者 4 4 名、ボランティアスタッフ 1 1 名、スタッフサポーター 1 名 日程: 9 : 0 0 集合 会場設営 役割確認 準備 9 : 4 5 受付開始 1 0 : 0 0 スタッフ紹介、全体説明 1 0 : 1 0 ～ 1 1 : 1 0 万華鏡作り 1 1 : 1 5 ～ 1 1 : 4 5 遊びの体験 大研修室: 魚釣りゲーム、ボーリング、輪投げ 小研修室 2 : 宝探し 1 1 : 5 0 アンケート記入、参加者解散 1 2 : 0 0 片付け 1 2 : 4 0 スタッフ反省、次回連絡、解散		
参加者アンケート	【満足度84%】 ○万華鏡の作り方がわかって、楽しかった。 ○万華鏡が上手にできて嬉しかったです。またやりたいです。 ○初めて万華鏡を作ったので作り方がわかりました。宝探しなども楽しかったの で、今度家でも作ってみようと思いました。 ○いろいろな遊びができてよかった。 ○かわいい万華鏡が作れて楽しかったです。		

担当者の 所感	【成果】 ・ 本事業の趣旨である、自分で考え、判断し、行動できる人材の育成については、少ない人数でそれぞれが主体的に行動する姿があり、活動を通して、ボランティアスタッフの成長が見られた。 ・ 参加者の満足度については、アンケート結果から 84% だった。 ・ 各市への周知については、昨年度より早い時期に配架できたことで、多くの応募があった。 【課題・今後の方向性】 ・ この事業の趣旨として、ボランティアスタッフが活動を通して、自分で考え、判断し、行動することのできる人材を育成することであり、活動日への参加はスタッフの自主性に任せているところである。しかし、体験の当日は参加する小中学生に満足度の高い活動内容を保障するためにも、ボランティアスタッフもある程度の人数の出席が必要である。2回目に向けて、ボランティアスタッフの出席率を増やすため、意識の向上を図る必要がある。 ・ 今回は応募者全員を受け入れたが、会場がかなりいっぱいになってしまい、当日の朝にレイアウトを変更する必要があった。2回目は反省を活かし、事前準備の段階で十分な確認が必要である。
--------------------	--

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7 年 2 月 2 4 日(月休)		
事業名	Let's do it!!～体験やボランティアから学ぶ価値を肌で感じよう～ 「高校生・大学生と Let's do it !!～みんなであそぼう～」		
趣 旨	異年代が集まり、体験活動・ボランティア活動を行うコミュニティの場を提供することで、視野を広げ、社会の一員として主体的に地域活動を行えるような、自分で考え、判断し、行動することのできる人材育成、さらには人材の循環を図っていくことを目的とする。そのために段階的処置とし、小学生や中学生は、体験活動として実施し、高校生や大学生は、企画・運営する側としてボランティア活動として実施することとする。また、パイロット的事業として、県内の市町村へ広げていくための一助とする。		
会 場	大研修室、フィットネススタジオ		
対 象	小中学生（ボランティアスタッフ高校生、大学生）		
申込方法	Web 申込		
募集定員	30 名程度	募集期間	令和 7 年 1 月 1 1 日から令和 7 年 2 月 4 日
参加者数	40 名、ボランティアスタッフ 11 名	参加費用	
講師 等			
実施内容	主催: さわやかちば県民プラザ・千葉県体験活動ボランティア活動支援センター 参加人数: 参加者 40 名、ボランティアスタッフ 11 名 日程: 9 : 1 5 集合 会場設営 役割確認 準備 9 : 4 5 受付開始 10 : 1 0 スタッフ紹介、全体説明 10 : 1 5 ～ 11 : 0 0 大研修室: あきばこで作る玉ころがしづくり 11 : 0 0 ～ 11 : 5 0 フィットネススタジオ: 脱出ゲーム 大研修室: ガチャポン、じゃんけん、紙飛行機 11 : 5 0 アンケート記入、参加者解散 12 : 0 5 片付け 12 : 3 0 スタッフ反省、次回連絡、解散		
参加者アンケート	【満足度 98%】 ○はじめてだったので、いろいろなことがわかって、うれしかったです。 ○作ってたのしかった。すごく考えられた。 ○きんちょうしたけど、みんながやさしかったから、楽しくできた。 ○だっしゅつゲームも楽しかったし、玉ころがしのゲームも楽しかった。 ○せんせいたちが、やさしくておもしろくて楽しかった。また、こうさくしたい。		

担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である、「自分で考え、判断し、行動する人材育成」については、ボランティアスタッフが参加者の活動の様子を見守りながら、必要なときに必要な手助けをするなど、それぞれに合わせた関りができるようになった。その結果、参加者のやりたい気持ちを引き出したことで、ボランティアスタッフも達成感を得ることができた。 ・参加者の満足度については、アンケート結果から98%だった。 ・締切間近に、近隣の学校へ再度チラシを配布し周知することで、定員以上の申込があった。 【課題・今後の方向性】 ・1回目の課題だった、ボランティアスタッフの出席を増やすことに関しては、メールで再度連絡したが、2回目も同様に参加が少ない状況だった。また、出席しているメンバーもほぼ同じメンバーとなっており、来年度は募集の時点で、活動が通年であることをしっかりと明記し、自覚をもって参加するような内容としたい。 ・体験の内容や当日の進め方で、例えば、工作が苦手な子どもでも、他の参加者の作品や活動を見てまねできるようにするなど、参加者同士の関りをもつ内容や場面を設定することで、さらに楽しく活動することができると考えられる。
--------------------	--

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6 年 5 月 1 1 日 (土)		
事業名	The World of Brass 2024 in 県民プラザ		
趣 旨	生徒に実際のマーチング体験をさせることにより、その楽しさを実感させ、芸術文化活動の促進を図るとともに、県民にマーチングを鑑賞する機会を提供し、生涯学習の推進に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ アゴラ 柏の葉公園		
対 象	東関東の中・高等学校の吹奏楽部		
申込方法	自由観覧		
募集定員		募集期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日
参加者数	6 9 5 1 名	参加費用	
講師 等			
実施内容	主催：さわやかちば県民プラザ 東関東吹奏楽連盟 主管：千葉県吹奏楽連盟 千葉県東葛飾地区吹奏楽連盟 協賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン 株式会社音楽之友社 参加校：19校（中学校8校、高等学校10校、中高等学校1校） （栃木） 壬生町立南犬飼中学校 作新学院高等学校 （茨城） 大成女子高等学校 （神奈川） 向上高等学校 東海大学付属相模高等学校中等部 （千葉） 柏市立松葉中学校 柏市立柏中学校 野田市立南部中学校 野田市立第一中学校 野田市立第二中学校 松戸市立小金南中学校 県立千葉商業高等学校 習志野市立習志野高等学校 西武台千葉中学校・高等学校 県立松戸六実高等学校 千葉敬愛高等学校 拓殖大学紅陵高等学校 県立袖ヶ浦高等学校 柏市立柏高等学校 参加人数：生徒1235名 顧問・ボランティア50名 計1285名 日程：9：30～11：50 野外演奏（柏の葉公園） 12：00～13：00 パレード（柏の葉公園） 13：00～16：00 フロアマーチング（県民プラザ）    森のステージコンサートの様子 パレードの様子 フロアマーチングの様子		
参加者アンケート	【満足度100%】 ○いろいろな場所でたくさんの学校が演奏をされていて、とても楽しめました。特にフロアマーチングは素晴らしかったです。 ○素晴らしい演奏会をありがとうございました。若い元気な青少年のみなぎるパワーから、エネルギーを頂きました。次回も楽しみにしております。 ○演奏している娘が地域の方々からもたくさんの声援を頂き、とても良い経験ができています。今後も続けて頂きたいです。		

担当者の 所感	【成果】 ・ 本事業の趣旨である「芸術文化の促進」、「生涯学習の推進」については、吹奏楽部の生徒が、日頃の成果を十分に発揮できる貴重な発表の場を設定できた。また、約7000名の観覧者の興味関心に寄与することができた。 ・ 本事業の実施については、千葉県内だけではなく、神奈川県、栃木県、茨城県からの参加があったが、事前に事務局との綿密な打ち合わせのおかげで大きな混乱なく終えることができた。また、館内掲示やホームページで、年度初めから早めに周知することができた。 ・ 観覧者満足度については、アンケート結果から100%満足であった。 ・ 観覧者アンケートについては、2次元コードを読み取っても回答できるように工夫したが、総数の4分の1程度がオンラインからの回答であった。 【課題・今後の方向性】 ・ 次年度の計画については、各種申請関係を含めて可能な限り今年度中に進めていく（5月開催の事業で、年度初めだと間に合わないため。）。 ・ 当日の運営については、気温が高く、体調を崩す生徒が3名いた。受付職員にも対応してもらい救護室を開放したが、他事業でも事前に体調不良者が発生した時の対応を想定していく必要がある。 ・ 観覧者席については、数が少ないとの声が複数あがった。観覧者の入れ替わりを想定して動きやすいように立ち見席を多くしていたが、実際にはさほど入れ替わりが見られなかった。特に1階については、折り畳み椅子を活用し、座席数を増やして計画していきたい。
--------------------	---

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年6月1日(土)～6月9日(日)(※6月3日は休所日)		
事業名	第2回 とうかつ地域文化祭		
趣 旨	東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、自主性、主体性、創造性や専門性を生かせる場とする。東葛飾地域の文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場とする。東葛飾地域の各種団体による日ごろの文化活動の成果を発表し、東葛飾地域文化の振興と生涯学習の推進に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ		
対 象	どなたでも		
申込方法	自由観覧		
募集定員		募集期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日
参加者数	8486名 参加73団体	発表参加費 (アゴラ) 5,000円～15,000円 【実行委員会の収入】(ホール) 10,000円～30,000円 ワークショップ参加費 100円～2,000円 【参加団体の収入】	
講師 等			
実施内容	主催：とうかつ地域文化祭実行委員会 共催：さわやかちば県民プラザ 内容：6月1日(土) オープニングイベント(3)、実行委員会 PRESENTS(4)、茶会(1) 6月2日(日) 洋の日(12)、ダンスフェスティバル(10)、煎茶会(1) 6月8日(土) ハワイアンフェスティバル(9) 6月9日(日) 和の日(10)、囲碁大会(5市代表)、フィナーレ(2) 期間中展示 俳句、写真、書道、刺し子、生け花、盆栽(計6) ワークショップ 手芸、ベリーダンス、アルゼンチンタンゴ、刀剣等(計10) ※()内の数字は参加団体数  文化祭実行委員会 PRESENTS ダンスと能のコラボ  ハワイアンフェスティバル  ワークショップ (刀剣)  ダンスフェスティバル (ホール)  フィナーレ (みんなで盆踊り)		
参加者アンケート	【満足度91%】 ○地域に根ざした手作り感が良かったです。日頃の発表の場として自己実現の場として最適です。 ○各々の催しもの、出演者の方々の日々の努力が発揮されとても良い文化祭でした。		

	○参加される団体やお客さんの笑顔や楽しんでいる様子がビシビシ伝わってきました。 ○他の出演者さま達と交流ができたのと、お歌を聞いて感動したり、素晴らしい1日になりました！
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「東葛飾地域文化の振興」、「生涯学習の推進」については、東葛飾地域及び近隣で活動する文化団体及び文化団体に所属する方々が、日頃の成果を十分に発揮できる貴重な発表の場及び、参加団体同士の交流が深まる場として設定できた。また、8000名以上の来場者の興味関心に寄与することができた。 ・本事業の実施については、とうかつ地域文化祭実行委員と10か月前から打合せを行い、参加団体の募集・ワークショップの参加者募集、ボランティアスタッフの募集と計画的に進めることができた。 ・また、参加団体との打ち合わせ・リハーサル等、実行委員会の計画を中心に実施されたが、昨年度より時間の短縮化がなされている。 ・観覧者満足度については、アンケート結果から満足度（大変満足した及び満足した）が91%であった。 ・事前の広報については、今年度から東葛6市の生涯学習課・生涯学習センター及び中央公民館にチラシを配架し、関係施設への周知、配架をお願いした。昨年度（7712人）より700人ほど来場者が増えた要因の1つと考える。 【課題・今後の方向性】 ・観覧者アンケートについては、2次元コードを読み取っても回答できるように工夫し、オープニングでも呼びかけ、ボランティアスタッフにより来場者個々に配布を行ったが、回答数が62件と少なかった。 ・観客席については、今年度2・3階に設置しなかったため、アゴラに人が集まり一体感が増した。次年度も継続したい。 ・次年度の本事業の実施については、令和7年度に、自主運営化の判断を行うことになっているが、今年度の利用貸館料概算が多額になっていることから、この金額を参加団体に参加費として計上していくことは、本事業の継続が困難になる要因になると考える。引き続き県民プラザが共催（支援内容によっては後援）という形態での運営・実施を検討する必要がある。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 6 年 1 1 月 2 4 日(日)		
事業名	令和 6 年度 柏の葉吹奏楽団定期演奏会「晩秋のコンサート」		
趣 旨	県内の優れた吹奏楽指導者を講師に迎え、公募した演奏者により結成した吹奏楽団によるコンサートを開催し、芸術文化活動を支える人材の育成を図るとともに、県民に吹奏楽の演奏を鑑賞する機会を提供し、吹奏楽の素晴らしさを伝え、参加型芸術文化活動の推進を図る。		
会 場	さわやかちば県民プラザ アゴラ		
対 象	どなたでも		
申込方法	自由観覧		
募集定員		募集期間	令和 一 年 一 月 一 日から令和 一 年 一 月 一 日
参加者数	1 5 2 1 名	参加費用	
講師 等			
実施内容	協力:柏の葉吹奏楽団 柏の葉吹奏楽団参加者数:140名 日程 9:15~12:00 リハーサル 12:00~14:00 休憩・準備 14:00~16:00 晩秋のコンサート 16:00~16:30 後片付け 晩秋のコンサートプログラム: 1 アルヴァマー序曲 2 ロンドンデリーの歌 3 ワシントン・ポスト 4 English Folk Song Suite 5 Shenandoah 6 エル・カミーノ・リアル 7 峠の我が家 8 雷神 9 バラの謝肉祭 10 映画「ジュラシック・パーク」より サウンドトラック・ハイライト 11 アフリカン・シンフォニー 12 J-Best 13 ジブリ・アニメメドレー 14 風になりたい		
			
	【コンサートの様子①】	【コンサートの様子②】	【コンサートの様子③】

参加者 アンケート	【満足度100%】 ○あっという間の2時間でした。とても素敵な演奏で感動しました。有名な曲ばかりで楽しかったです。 ○普段ご指導していただいている先生の学校以外での活躍の姿が見られて嬉しいです。とても感動する演奏でした！ ○ワシントンポスト、雷神両マーチのユニゾンが揃っていて素敵でした。風になりたいのポップスの流れがとても良かったです。 ○迫力満点で音量もあり、素晴らしかったです。中でも馴染みのあるジブリメドレーは思い出も重なり感涙しました。次回の演奏会も楽しみにしています。 ○オープンな場所での演奏で、子連れでも緊張せずに楽しむことができました。なつかしい曲もいくつかあり、昔に戻ったように楽しめました。体に響く生演奏はやはり最高ですね。無料なのもありがたいです。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「芸術文化活動を支える人材の育成」、「参加型芸術文化活動の推進」については、柏の葉吹奏楽団員が役割分担をしてコンサートに向けての準備を行うことができた。特に各パートから選出されたコンサート係（企画委員）は、それぞれの仕事に責任をもって取り組み、楽団運営に深く関わることができた。また、1000名以上の観覧者に向けて、日頃の練習の成果を十分に発揮できる貴重な発表の場を設定するとともに、県民の興味関心に寄与することができた。 ・本事業の運営については、駐車場や館内の安全を考慮し、職員を配置した。当日は、柏の葉公園利用のための駐車場利用を制限したことで、コンサートに伴う満車による交通の混乱を避けることができた。館内では、観覧席と通路の区分けを明確にし、安全確保に努めた。 ・柏の葉吹奏楽団の演奏については、5月からの練習の成果を十分に発揮することができ、好評であった。4名の講師による指揮の様子に感銘を受ける観覧者もいた。 ・観覧者満足度については、アンケート結果から100%満足であった。 【課題・今後の方向性】 ・1月に開催する新春のコンサートについては、当日の柏の葉公園の行事を鑑み、今回のコンサートと同様の対策を取りたい。特に駐車場対応のための開門時間の変更や職員配置については、綿密に計画を立てていきたい。 ・アゴラの座席配置については、優先席を設ける等の計画を立て、お年寄りや足の不自由な方や小さな子ども連れの方のための座席確保に努めたい。 ・コンサートの準備については、柏の葉吹奏楽団事務局との連携を密にし、演奏者と観覧者が満足できるよう進めていきたい。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年 11月27日(水)～令和6年12月4日(水)		
事業名	千葉県特別支援学校作品展		
趣 旨	次世代へ光輝く「教育立県ちば」プランに基づく特別支援教育の推進に向けて、特別支援教育及び特別支援学校について広く県民に対して理解・啓発を図るとともに、特別支援学校に在籍する児童生徒が作品を発表する場とし、県民と特別支援学校生徒との触れ合いをとおして、共生社会実現の一助とする。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 1階県民ギャラリー、2階回廊ギャラリー及びアゴラ		
対 象	どなたでも		
申込方法	なし		
募集定員	なし	募集期間	
参加者数	453名	参加費用	無料
講師 等	なし		
実施内容	主催:千葉県特別支援学校長会 さわやかちば県民プラザ 参加人数:453名 日程:搬入:11月26日(火) 展示:11月27日(水)～12月4日(水) 搬出:12月4日(水) 物品販売:県立湖北特別支援学校 11月29日(金)9時～11時30分		
参加者アンケート	【満足度100%】 ○全作品すばらしく、将来のアーティストが生まれるのではないかと思います。 ○小学校で特別支援学級を担当しているので、子どもたちに作業させる内容を考えるきっかけとなるので、毎年楽しみにしています。 ○毎年見に来ておりますが、様々な学校の作品を見させていただき、とても楽しかったです。子どもたちの作品これからも楽しみにしています。 ○個性いっぱい作品にとっても癒されました。また機会があれば見に行きたいです。 ○それぞれの児童生徒の皆さんの力作を堪能させて頂きました。これだけの作品を完成させるご指導、ご支援をして下さっている先生方に頭が下がる思いです。来年も楽しみにしています。		



	○もう少し宣伝してより多くの人に見てもらえると良いと思います。 ○それぞれの作品を見て、先生方の努力を感じました。
担当者の 所感	【成果】 ・ 本事業の趣旨については、特別支援学校の児童生徒の作品を通じて、各特別支援学校の取組を知り、理解する機会となった。 ・ 特別支援教育関連情報コーナーを通じて、共生社会実現に向けて考える機会となった。 ・ 県内特別支援学校紹介パネルの展示を通して、各学校での取り組みや特徴などを知る機会となった。 ・ 県立湖北特別支援学校による物品販売会を通して、特別支援学校の生徒と県民が直接触れ合う機会となり、特別支援学校についての理解を深め、共生社会実現の一助とすることができた。 【課題・今後の方向性】 ・ 今回、事務局校との行き違い(参加校数、物品販売の有無)が散見された。事務局校も輪番で担当のため、引継ぎなど難しい部分もあるが、当所での記録なども活用しながら、事務局校との連携を密にし、情報共有を徹底する必要がある。 ・ 来場者把握のため、受付を1階のみとし、2階入口は封鎖したが、エレベーターを利用する方への配慮に欠けていた。掲示などでエレベーターを利用し、2階からの入場をご案内できるようにする。 ・ 所内に特別支援学校の作業製品紹介コーナーを設置し、作品展開催毎に製品を入れ替えていただく形をとることで、所内で特別支援学校の活動に触れる機会とする。 ・ 来場者から大変好評な事業であるため、より多くの県民の方に来場していただき、特別支援学校の取組などについての理解を深めてもらうよう、広報などを積極的に行う。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年12月21(土)、22日(日)		
事業名	令和6年度(第27回)高校生バンドフェスティバル		
趣 旨	高校生で編成されたバンドに、日頃の活動成果を発表する機会を提供し、音楽活動とおとして、地域や学校の枠を越えた高校生同士の交流を図る。 また、この経験を糧とし、将来的に文化活動を支える担い手の育成を図るとともに、参加型芸術文化活動をより一層促進する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ ホール		
対 象	県内に在住または県内高等学校に在学する高校生で編成されたバンド		
申込方法	Web 申込(演奏動画添付)		
募集定員	24組の高校生バンド	募集期間	動画審査:令和6年8月1日から令和6年9月30日
参加者数	22組の高校生バンド(2組不参加) プロバンド「RUDE MAN」 観覧者342名	参加費用	無料
講師 等	玉置 瞬 氏(柏市立柏高等学校教諭) 薦 春紀 氏(千葉県立柏の葉高等学校教諭) 内記 達弥 氏(千葉県立流山のおおたかの森高等学校教諭) 澤 祥太 氏(柏市立柏高等学校出身・同校軽音楽部コーチ) 小谷野 大樹 氏(RUDE MAN(ルードマン)ボーカリスト)		
実施内容	内容:動画審査を通過した21校22組(当日2組不参加)のバンドにより2日間に渡りバンドフェスティバルを行った。   【舞台袖からの様子】 【正面からの様子】		
参加者アンケート	【満足度96%】 「顧問」 ○このような舞台で演奏させてもらえるのは大変ありがたい。 ○音響、照明など素晴らしかった。参加校の演奏も素晴らしく、会場に来た生徒達は多くの刺激を貰っていた。 ○全バンドの受付時間を朝にし、最初から最後までいるようにすれば観客が増える。 ○土曜日をリハの日にして、万全の状態で開催させてあげたい(もしくは当日午前)		

	ハ)。そのために、出演バンド数を半分にする。そうすれば、バンフェスに出る価値も高まり、生徒たちのモチベーションも上がる。 「出演者」 ○観客も盛り上がっていて楽しかった。PAの方の対応がスムーズでやりやすかった。 ○ベースアンプの音や照明が良かった。 ○講評を用紙でもらえるとうれしい。 ○観客の顔があまり見えなくてつらかった。 「一般観覧者」 ○若い力に圧倒された。末永く続けてほしい。 ○見られることを楽しみにしているのでぜひこのような機会を増やしてほしい。学生が活躍できる場があり、うれしく思った。 ○ステージが見やすく、後部席からの距離も丁度良く楽しく観られた。 ○高校生が出演することにより、パワーをもらえた。次回も楽しみにしている。 ○色々なバンドの演奏を観てたくさん学べた。来年は出られるようにがんばりたい。 ○1バンド多くて2曲にし、前日をリハーサルにして1dayでの開催が良い。 ○とても期待していましたが音量が大きすぎたり、照明が強すぎたり、とても残念であった。でももう一度、聞きにきてみたいと思っている。学生の皆さん、頑張ってください。 ○出演者以外の観客がほぼいないのが残念だった。とても良いライブだったので、もっと集客に力をいれたらもっと良いイベントになると思う。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、「高校生に活躍の場を提供」できたと感じている。また、複数校で構成されたバンドもあり、「地域や学校の枠を越えた高校生同士の交流」を図ることができた。 ・運営については、何度も講師やホールスタッフと綿密な打ち合わせを行うことで、円滑にできていたと感じている。 【課題・今後の方向性】 ・集客については、アンケートでも書かれているとおり少ないことが課題となった。広報の仕方や参加校の受付時間について工夫していかなければならないと感じた。チラシへの記載方法についても再検討していく。 ・当日欠席したバンドについては、空白の時間としてしまった。欠席した場合、時間を詰めるのか空けるのかという判断を事前にできるように対策を講じていく。

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7 年 1 月 1 9 日(日)		
事業名	令和 6 年度 柏の葉吹奏楽団定期演奏会「新春のコンサート」		
趣 旨	県内の優れた吹奏楽指導者を講師に迎え、公募した演奏者により結成した吹奏楽団によるコンサートを開催し、芸術文化活動を支える人材の育成を図るとともに、県民に吹奏楽の演奏を鑑賞する機会を提供し、吹奏楽の素晴らしさを伝え、参加型芸術文化活動の推進を図る。		
会 場	さわやかちば県民プラザ アゴラ		
対 象	どなたでも		
申込方法	自由観覧		
募集定員		募集期間	令和 一 年 一 月 一 日から令和 一 年 一 月 一 日
参加者数	1 9 9 0 名	参加費用	
講師 等			
実施内容	協力：柏の葉吹奏楽団 柏の葉吹奏楽団参加者数：1 3 0 名 日程 9：15～12：00 リハーサル 12：00～14：00 休憩・準備 14：00～16：00 新春のコンサート 16：00～16：30 後片付け 新春のコンサートプログラム： 1 雷神 2 峠の我が家 3 アルヴァマー序曲 4 English Folk Song Suite 5 Shenandoah 6 エル・カミーノ・リアル 7 ロンドンデリーの歌 8 ワシントン・ポスト 9 バラの謝肉祭 10 映画「ジュラシック・パーク」よりサウンドトラック・ハイライト 11 アフリカン・シンフォニー 12 J-Best インフェルノ～私は最強～ダンスホール～僕のこと～ケセラセラ 13 J-Best～日本を勇気づける名曲たち～ 14 スタジオジブリ・アニメ・メドレー 15 風になりたい		
			
	【コンサートの様子①】	【コンサートの様子②】	【コンサートの様子③】

参加者 アンケート	【満足度100%】 ○毎年迫力ある演奏が生で聴けて大変満足です。活動を続けていただき、また今後も演奏会が開催されるのを楽しみにしています。 ○曲目がバラエティ豊かで団員数も多く迫力があり楽しく聴けました。パーカシヨニストの方の人数も腕も凄くて驚きました。 ○益々、皆様の技術及び音に対する姿勢が向上しているように感じます。以前から見て、格段に良いバンドになっていると思います。来年度も楽しみにしていますので、バンド活動をずっと継続して下さい。 ○とても素晴らしい演奏会でした。響きに奥深さと広がりを感じ、最高でした。東葛地区に楽団があるのは、とても嬉しく思います。次回も楽しみにしています。 ○演奏ばかりではなく、指揮の先生方の魅力をたっぷり知ることができ、感動しっぱなしでした。 ○石田先生の指揮を実物で見られて感動しました。アフリカンシンフォニーがとても良かったです。ブラボー！
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「芸術文化活動を支える人材の育成」、「参加型芸術文化活動の推進」については、柏の葉吹奏楽団員が役割分担をしてコンサートに向けての準備を行うことができた。特に各パートから選出されたコンサート係（企画委員）は、それぞれの仕事に責任をもって取り組み、楽団運営に深く関わることができた。また、1000名以上の観覧者に向けて、日頃の練習の成果を十分に発揮できる貴重な発表の場を設定するとともに、県民の興味関心に寄与することができた。 ・本事業の運営については、駐車場や館内の安全を考慮し、職員を配置した。 ・柏の葉吹奏楽団の演奏については、11月に開催した晩秋のコンサートにも増して技術が高まっているとの声も多く好評であった。日頃の練習の賜物である。4名の講師による指揮の様子に感銘を受ける観覧者もいた。 ・観覧者満足度については、アンケート結果から100%満足であった。 【課題・今後の方向性】 ・次年度以降のコンサートについては、更に団員が自主的に運営していく形となる。職員は、コンサート当日の駐車場整理と館内警備に当たる予定である。 ・柏の葉公園で柏市新春マラソンを実施していたが、午前中に競技が終了となるため、駐車場の混乱は見られなかった。次年度の新春のコンサートの折は、一般の方の駐車場警備は不要と考える。

Ⅲ おわりに

令和5年5月の千葉県生涯学習推進方針の策定により、当所では、県生涯学習センター・芸術文化センターとして、より充実した学びの場や情報を県民一人一人に提供できるよう、事業の整理を行い事業展開してきました。講座やイベントに参加された皆様からは、たくさんの好意的なご意見をいただき、事業の意義や目的を明確にして事業実践した成果が得られました。しかし、個々の学びの成果を地域社会で生かす人材の育成という点においては、さらなる研究が必要であると考えます。引き続き、事業に対する高い目的意識のもと、県民一人一人が、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を地域社会で生かして活躍できる生涯学習社会の実現をめざし、事業実践研究を進めていきたいと考えております。

事業の実施にあたりましては、講師の皆様のご指導をはじめ、ボランティア等、多くの皆様にご支援をいただき、充実した事業展開ができましたこと、深く感謝申し上げます。また、各市町村及び各連携機関におかれましては、当所の事業振興にご協力いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。